

おおぞらだより

第26号

令和6年 12月 発行
社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団
おおぞらのいえ
〒651-2181 神戸市西区曙町1070
TEL (078)927-2727
FAX (078)925-9253



「あいさつ」

令和六年十二月 吉日



おおぞらのいえ 所長 田中哲也

たなか てつや

満開の桜が彩った春、記録的な猛暑となった夏、長い残暑が終わり、朝晩の冷え込みととみに、ようやく秋の訪れを感じたと思ったら、もう師走の12月を迎えました。皆様、今年は何管理に苦慮されたことと思います。

令和6年4月におおぞらのいえ所長に着任しました田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

所長という大役を任せられ、8か月が経ちましたが、未だ経験したことが無い事も多く、日々学びの機会をいただいております。

当施設を利用する子どもたちは、日々多くのことを学び、経験しながら、一人ひとりそれぞれのペースで成長しておりますが、成長できるのは子どもたちばかりではありません。支援に携わるスタッフも、子どもたちへの支援を通して悩んだり、様々なことを経験しながら学び、成長していけるのだと思います。この「おおぞらのいえ」が、どなたにも寛容で、共に支え合い、成長していける施設でありたいと願っております。

所長という職責の重大さに戸惑っておりますが、スタッフ一丸となって、ご利用者、ご家族の想いを大切にす施設を目指していきたいと思っております。また、地域の皆様から信頼される施設となれるよう、日々努力して参りますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「おおぞらのいえのつどい」

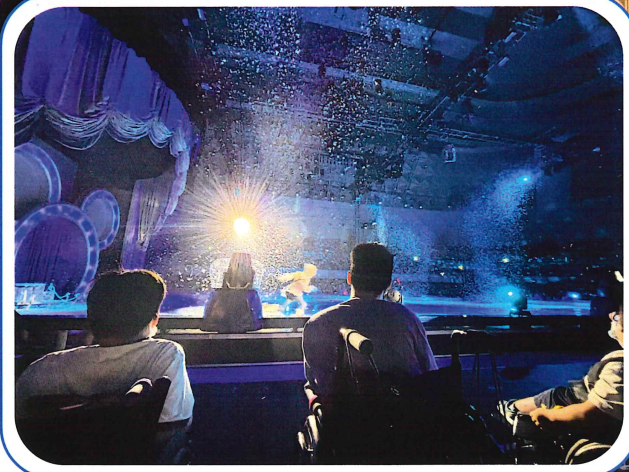
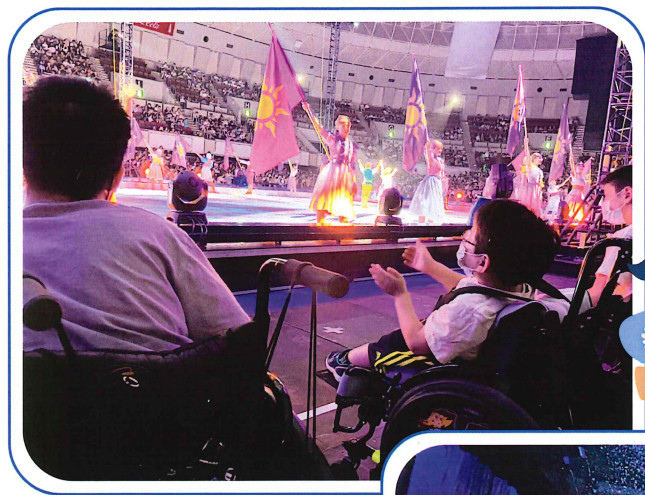
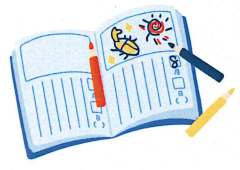
おおぞらのいえ児童発達支援事業所では、9月21日、「おおぞらのいえのつどい」を開催しました。前回開催から、コロナ禍を経て、4年ぶりの開催となりました。職員も、保護者と来場した元利用児と久しぶりに再会し、子ども達の近況を聞き、成長に目を細めました。現利用児の保護者10名、元利用児の保護者16名に参加頂き、新旧職員も加わりグループトークを行いました。就学先、進路に向けて知りたいこと、悩んでいること等、各グループ共に活発な情報交換を行いました。初めは緊張気味の保護者達も、簡単な自己紹介から話始め、徐々に緊張もほぐれ、最後は話し足りないと思いが上がるくらい盛り上がり、あっという間に予定の1時間半が過ぎました。参加された保護者達からは、「心が少し軽くなった」「小学校のこと（支援学校、支援級）について参考になった」「子どもが小さかった頃を思い出し、今の成長を改めて感じる事ができた」「自分たちの体験が役に立ってよかった」「また今日のつどいの様に新旧の保護者が話せる場を作ってほしい」等の感想をいただきました。

今後も「つどい」の場を通じて、新旧の保護者の方々が集える機会を大切にし、子どもたち、保護者の方に寄り添いながら、一緒に前を向いて進んでいければと思います。



「夏休みの思い出」

今年の夏休みは、買い物やプール遊び、花火、BBQなどたくさん遊びました。夏の定番ではありますが、子どもたちはとても楽しみにしており、夏休みに入る前から話題が上がっていました。活動中は笑顔が絶えず楽しそうに過ごしており、職員も元気づけられました。また、ディズニー・オン・アイスに招待していただきました。いつもテレビで見ているキャラクターが目の前に現れ驚いたり、歌ったり踊ったりしているのを見て手拍子をしたり体を揺らしたりと大興奮。帰ってきてからも「ミッキーがいた!」と嬉しそうに話しており、子どもたちにとってとても思い出になったと思います。今年の夏もたくさん思い出をつくることができました。



スタッフ紹介



療育指導課長 麻生 真和 (あそう まさな)

これまでは障害のある大人や高齢者の施設で長く勤めてきました。子どもたちの笑顔や元気な声と、明るく子どもたちに接する職員が私の励みです。子どもたちが自己実現できるよう、職員が明るく元気で働く職場であり続けられるよう努めてまいります。



児童発達支援事業所 支援員 北川 有里佳 (きたがわ ゆりか)

今年度4月に異動で、4年ぶりに児童発達支援事業所の管理責任者としておおぞらのいえに戻ってきました。「できた」「がんばれた」を積み重ね、お子様の「やってみよう」の芽を保護者の皆様と一緒に育てていければと思いますので、よろしくお願いいたします。



入所施設 支援員 前野 有美 (まえの あけみ)

1週間は思いのほか早く1か月はとても重みがある日々です。初めての児童施設は新鮮でかつ人との向き合い方を改めて模索しています。児童の成長を大事に、自分らしい姿を応援できるよう自身も成長したいと思います。



入所施設 支援員 藤藪 悠成 (ふじやぶ ゆうせい)

おおぞらのいえで子ども達と日々関わっていく中で成長していく姿を見ると、やりがいと喜びを感じます。子ども達にとって毎日が充実し、楽しく笑顔で過ごすことができるようこれからも努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



入所施設 支援員 笠井 美宙 (かさい みゆ)

子どもたちの日々の成長や笑顔を側で見ることができてとても嬉しく思っています。子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添い、元気に楽しく過ごすことができるように精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



入所施設 支援員 増田 歩果 (ますだ あゆか)

おおぞらのいえで働くようになって半年が経ちました。児童達との関わりの中で気づかされることが多くあり、学びの多い日々を過ごしています。これからも悩みながら一人一人の児童達と向き合っていきたいと思っております。



看護師 前田 久美子 (まえだ くみこ)

大好きな子どもたちと一緒に過ごせることを嬉しく思います。時には優しい母、時には子どもたちのことを考え厳しい母であり、時には良き理解者の友人であり…子どもたちの心に寄り添った看護師でありたいと思っております。

編集後記

今年もおおぞらだより26号が完成いたしました。今年度は昨年度よりも活動範囲が広がり、子どもたちの笑顔を多く見ることができてとても嬉しく思います。来年度も元気な子どもたちの姿を皆様にお届けしたいと思います。